



弊社の取り組みをご紹介します

※特許出願中

## 施工情報システム

現場で画面をタッチするだけで施工管理書類を自動作成！

- 10.1インチタブレットタイプ
- チェックシートを自動作成
- 日報を自動作成
- 管割図はCAD形式で自動保存



事務所にいながら  
現場の進捗を  
確認できる

タブレットに施工情報を入力、管理

過ごしやすい時期もつかの間、間もなく梅雨の季節の到来です。最近、天気予報の精度が非常に高くなり、お出かけの予定が立てやすくなってきました。とはいえ、なんだか、気分が落ち込む雨。そんな時は考え方を考えてみましょう。

雨は、なにか嫌なものをザッと流してくれたり、様々なものを潤してくれている感じがしませんでしょうか？緑は、より鮮やかに目に映ります。私たちの食物は雨が育ててくれます。いかがでしょう。晴好雨奇の気持ちで梅雨を乗り越えましょう。

DUCTILE TIMES編集部

### お知らせ 下水道展'19横浜

開催期間：2019年8月6日(火)～9日(金)  
於：パシフィコ横浜（神奈川県横浜市）

「下水道展'19横浜」に弊社は圧送下水管内調査カメラ「CSカメラ スネークくん」を出展いたします。是非弊社のブースにお立ち寄りください。お待ちしております。



### 実際にお使いになられた施工現場から



長野県長野市で、配水管布設替え工事がライフライン長野株式会社様により、実施されました。約1週間の施工期間中、施工情報システムをご使用いただきました。

実際に施工情報システムをお使いになったのは、導管部工事課の金井様です。ご感想を次のようにお話しくださいました。

「チェックシートの手書きが不要なので、作業は楽になりました。また、自動作成された管割図を、市指定様式



継手を撮影中  
(施工情報システムで撮影しています。)

の日報や竣工図にそのまま流用することができ、システムの利用価値の高さを感じました。施工情報システムの実用化に期待しています。」

今後も改良を重ねて参ります。  
ご協力いただきありがとうございました。



5月上旬の晴れた日、石川県金沢市の一角で、GX形ダクタイル鉄管呼び径75～100配水管の更新工事が実施されました。当該工事現場で、施工情報システムをご使用いただきました。

施工情報システムをお試しいただいたのは、株式会社橋設備工業の皆様です。ご担当の四方様に使用感をお尋ねしました。「どの埋設管路に、どのような継手が使用されて

いるか、正確な記録として残るところが良いと感じました。比較的簡単な操作で作業でき、スマートデバイスを使い慣れない人でも使えそうですね。」との感想をお話しくださいました。



継手を撮影中  
(施工情報システムで撮影しています。)